

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                     |    |            |
|----------------|---------------------|----|------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービス あんプラス三河島 |    |            |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年10月3日           |    | 令和7年10月17日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)              | 58 | (回答者数) 49  |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年10月3日           |    | 令和7年10月17日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)              | 4  | (回答者数) 4   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年10月24日          |    |            |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること   | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 個々の特性をよく理解し、それに応じた支援を丁寧に行っている点が評価されています。繰り返しの行動や時間がかかる場面でも、焦らせることなく、子どものペースに合わせた支援を行っています。                 | 一人ひとりの特性やその日の状態に合わせて支援内容や声かけ、活動の順番を柔軟に調整しています。安心して過ごせるよう、無理をさせずに成功体験につながる関わりを意識しています。       | 今後は、子どもの反応や状態を職員間で共有・分析し、より効果的な支援方法を検討する体制を強化します。また、本人の選択や気持ちを尊重した活動構成を工夫し、主体性や安心感をさらに高めていきます。                           |
| 2 | LINE等のツールを活用し、日々の様子や支援内容をこまめに共有するなど、保護者との連携がしっかり取られています。また、支援計画の説明もわかりやすく丁寧であり、保護者から安心して任せられるとの声が寄せられています。 | 保護者とのLINEや連絡帳、面談などを通じて、家庭と連携を取りながら支援の方針を共有しています。気になる点があれば速やかに相談し合い、家庭との協力体制を大切にしています。       | 家庭との情報共有をより効果的に行うため、職員間での共有体制を強化し、支援内容の一貫性を高めていきます。また、保護者が意見や要望を伝えやすい仕組みづくりや、ミニ勉強会・アンケートの実施を通じて、協働的な支援体制のさらなる充実を図っていきます。 |
| 3 | 子どもに対して常に優しく温かい態度で接し、どんな状況でも根気強く対応している点が強みです。家庭では対応が難しい場面も、安心して任せられる支援体制が整っており、保護者から感謝の声をいただいています。         | 見通しを持って行動できるよう、視覚的なスケジュール提示やルールの明確化を行っています。また、支援の仕方に統一感が持てるよう、スタッフ間で情報共有やミーティングを定期的に行っています。 | 特性理解や支援技術に関する研修参加を継続し、スタッフ全体のスキルアップを図ります。また、ケース検討や支援方法の共有を通じて、支援の質のばらつきを減らし、安定した対応を提供できるよう努めます。                          |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること  | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|---|--|--|
| 1 | 保護者から「地域の子どもの交流がわからない」との声があり、放課後児童クラブや児童館との連携や、地域社会とのつながりづくりが今後の課題です。                     | 安全面や支援体制の関係から、外部との交流や地域イベントへの参加が限られており、地域資源の活用が十分にできていない点が要因と考えられます。   | 安全面に配慮しながら、地域の児童施設やイベントとのつながりを少しずつ広げていく計画を立て、子どもたちが地域の中で交流できる機会を意図的に作っていくことが必要です。  |
| 2 | ペアレント・トレーニングや保護者向け研修などの取り組みについて、「参加したことがないのでわからない」との意見があり、内容や目的の伝え方、参加しやすさへの配慮が必要とされています。 | ペアレント・トレーニングや保護者向け研修に関して、「参加したことがないのでわからない」との意見があり、実施の周知不足や、内容・目的の伝え方に工夫が必要であると感じています。また、実施機会自体が少ないこともあり、保護者が関心を持ちやすいテーマに絞って取り組む必要があります。 | 保護者のニーズを把握したうえで、関心の高いテーマに絞った研修の企画や情報提供や、少人数でも気軽に参加できる形で実施することが必要です。また、案内方法についても紙媒体に加え、LINEや個別声かけなど、多様な手段を活用して周知を強化し、参加へのハードルを下げる工夫を行ってまいります。 |
| 3 | 通所開始から間もない方から「説明内容を覚えていない」との声があり、初回説明の分かりやすさやフォロー体制、安心感を持ってもらうための工夫が求められます。               | 初回面談や支援計画の説明時に、わかりやすさや印象に残る工夫が不足しており、後から内容を思い出しにくいことが課題の背景と考えられます。   | 新規利用開始時の説明内容を視覚的にわかりやすくまとめた資料の配布や、一定期間後のフォロー面談を設けるなど、初期支援の理解と安心感を高める取組が必要です。   |